

令和元年度授業改善推進プラン【4年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	△文章で自分の思いを表現することを苦手としている児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> • 作文指導の中で、書き方の手順を児童が常に確認できるように示す。 • まず文章を書いた後は必ず読みを促し、そのとき感じた思いを聞き出し付け加える指導に取り組む。
社会	△得た知識から推論する力が充分育っていない。	<ul style="list-style-type: none"> • ある事象から推論する場面で児童が発表したときには、「どうしてそう考えたのか？」と教師が児童に理由や因果関係を聞くようにし、児童が「私がこのように考えた理由は…」根拠をもとに発表することができるように繰り返し指導する。
算数	△文章を読んで、問題の場面を理解することが苦手な児童が多い。 △自分の考えを発表することを躊躇する児童が多い。	<ul style="list-style-type: none"> • ペアやグループによる学び合いの活動を大切にする。それでも理解が難しい児童には、個別に丁寧に指導する。 • 考えるための手だてである式、言葉、図、表などを活用して自分の考えをもてるように提示の工夫をし、全体の前で発表することができた児童を褒め、発表することに対して意欲的になるようにする。
理科	△事象を比較して考える力が弱い。 △問題解決する場面で予想を発表できる児童が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> • 実験のときに、具体的に体験させ、実感を伴った活動を多く取り入れる。 • 既習内容を活用する場面を増やし、教師が「どうしてそう考えたのか？」という問いに児童に「私はこのように考えます。た理由は…」を説明できる、現象の要因や規則性を推論して解決していく力を身に付けられるようにする。
音楽	△音楽への興味関心が高く、発想も豊か。二部合唱に向けて、音や声の重なりの美しさに気づくようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> • 腹式呼吸を意識した頭声発声を定着させ、響きのある声で歌えるようにする。 • お互いの声や音の重なりを聞き合う機会をつくり、響きの美しさに気づかせるようにする。
図工	△発想は豊かではあるが、材料や道具の特徴を活かして作ることに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> • 前学年までの材料や用具についての経験や技能を生かして表すなど、既習事項の確認を行い、新しい道具の使い方について視覚的な資料を用いてわかりやすい指導をする。できることから材料を試し、友達のやり方を共有して、様々な材料の特徴や活かし方学ぶ時間を設ける。
体育	△全体的に意欲的に取り組むが、苦手なことには、練習を積み重ねようとしない児童もいる。	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の実態に応じた課題を明確に設定し、問題解決的な学習を取り入れ運動のコツを理解させ、練習することが楽しいと思うような場の工夫をする。